



ビールが紡いだ姉妹都市交流

守谷市がまだ守谷町だったころに、アサヒビールの工場ができました。ドイツ、マインブルク市から世界一のホップを輸入してビールを作っていたことが縁となり、1990年11月3日に守谷町とマインブルク市は姉妹都市の締結をして交流が始まりました。

ドイツの南に位置するマインブルク市は、県南に位置する守谷市と、位置だけでなく、緑が豊かで、人が温かく、ゆっくり流れる時間までもがとてもよく似て

いと、訪れた人がみな感じるまちです。

昨年は、姉妹都市締結30周年の年でした。MIFAは、設立31年、MIFAの歴史にはずっとマインブルクがありました。

2年に一度、来市する方々をMIFA会員もホストファミリーとしてお迎えし、会員もマインブルクを訪問した際にはホームステイという体験を通して、より深い交流を続けてきました。

「わたしのマインブルク」

MIFA 会員の交流記紹介

私が初めてマインブルク市を訪れたのは1988年の4月で、やっとホップの芽が伸び始めた頃の季節でした。マインブルク市のゲストブックにサインをしたことが昨日のこのように思い出されます。当時、私はヨーロッパ視察団の一員として大和田町長、松丸議員とともに守谷に工場建設を決めたアサヒビールとの縁でマインブルク市を訪れることになりました。この時の訪問が、2年後に守谷市と姉妹都市を結びきっかけとなりました。

(小川会長)



MIFAの姉妹都市交流の活動を通じて、いつか私もマインブルクに行ってみたいと思うようになりました。

小6の夏、初めての海外&一人旅でマインブルクに行きました。空港では私が生後3か月の時から交流が続いている友人が待っていてくれました。

言葉はあまり話せなくても、守谷に来たことのあるマインブルクの人たちに助けをもらいながら、3週間ホームステイをしてきました。

小4のときに守谷でお会いした市長さんにも再会できました！

(大平あやの・10代)



初めての海外旅行で不安はありましたが、一緒に行ってくれたメンバーが心強かったです。ドイツの街並みは実際に見るのが初めてで、まるで映画の中にいるようでした。ホームステイの家族はとても親切で、日本の「おもてなし」に近いものを感じました。ホームステイの子供とドイツの踊りを踊ったことが印象的でした。

(杉田 勇貴・20代)



私は高校1年生の時とMIFA25周年事業でマインブルクを訪問しホームステイをしました。マインブルクの皆さんはいつも温かく迎えてくれるので親戚の家にいるように楽しく過ごせました。2度目の訪問で市民の方々や以前守谷市の国際交流員だったリヒターさんと一緒に行ったオクトバーフェストでは「ビール天国ドイツ！」を実感しました。

(金井 友香・30代)



夏のマインブルクは、午後9時でも明るく、さっぱりした気候でした。アフターファイブの明るさは、皆さんを活動的にしているようでした。ドイツの若者は皆さんTシャツに短パン、綿パンが多かったですね。おのずと会話も弾みました。

(宮本 敏弥・70代)



私は1999年からマインブルク市民が来られた際の観光案内・交流会に参加させていただいています。2008年に16歳の男子の子を、2018年にその子の弟を我が家に迎え入れました。それまでに四季の異なるマインブルクを4回訪れ、そのときにお世話になった現地の皆さんとは今でもSNSを通じて交流を続けています。

(浅川 恭子・60代)





地域に暮らす外国人のための講座

守谷市や近隣に住んでいる外国人の方々にいろいろな日本文化を体験してもらう事業をしています。現在お箏の体験をしている参加者の皆さんに感想を聞いてみました。

【中国人女性Aさん】練習が楽しい、夢中で弾いていると嫌なことを忘れてしまう。

【中国人女性Bさん】音色がよく心が落ち着く、ストレス解消になる。

【中国人女性Cさん】日本の歌を覚えられて楽しい。

【中国人女性Dさん】寂しい生活の中で、みんなで集まりお箏を弾くのは楽しい。

【中国人男性Eさん】とにかく楽しい、今までに楽器を弾いたことがないので箏を弾けるようになり嬉しい。

【ベトナム人女性Fさん】箏は魅力的、この楽器が弾けるようになり楽しい。

【アメリカ人男性Gさん】よい人たちと出会い、一緒に日本の音楽を楽しんでいる、日本の楽器を弾けて楽しい。

【講師のコメント】日本の歌を知ってほしいと思い、昔から歌い継がれている曲を練習しています。さまざまな国の方々と交流し、その文化を知ることができるボランティアを楽しんでいます。今後もできるだけ多くの日本文化を体験できる講座を継続しておこないます。



外国語に親しむ

《英語でおしゃべり》

開催 毎月第1土曜日 時間 10:00～12:00 場所 ログハウス

今年はコロナ禍でも10月より30名限定、入念な感染対策で開催しています。

英語が分かりやすいようにマウスシールドをMIFAで準備しました。

12年も継続して無事に100回目を迎えました。外国人や参加している素敵な皆さんとの交流が魅力です。

今後はオンラインなどで海外との通信なども出来たらと夢を膨らませています。



↑ QRコードより
100回記念ブログを
ご覧ください。

《中国語と中国文化の勉強》



開催 月2回、日曜日
時間 10:15～11:15 場所 ログハウス

【参加者の声】参加したきっかけは中国ドラマを見て発音の美しさから、習ってみたいとなったことです。中国語のプロの指導者でもあるMIFAの曹さんの楽しい授業です。

《ドイツ語を楽しもうかい》



開催 第4水曜
時間 14:30～16:30 場所 ログハウス

国際交流員のシュテファニーさんをお迎え、ドイツ語作文の練習をしています。ドイツ語のニュースを日本語に訳したり、グリム童話について語り合うなどドイツの文化を学んでいます。



一緒にやろう！ 国際交流

MIFAでは下記の委員会が中心となり企画・運営をしています。



日本語講座委員会

2020年の日本語講座はオンラインで開催。
参加者は日本語と同時にZOOMアプリの使い方もマスターすることができました。



ログハウス委員会

世界各国の大使に、その国の文化や観光についてお話いただく「世界を知るシリーズ」大使講演会を企画、今までに26回開催しました。委員会では直接大使館を訪問し大使と打合せをするなど貴重な経験もできます。

世界の民族楽器の演奏や踊りなどを紹介する「MIFAコンサート」も開催。



総務委員会

- 国際理解ワーキング・グループ
 - ・世界の文化の多様性を理解する勉強会や講演会を実施
 - ・勉強会などで得た知識を守谷市内の小學生に伝える活動
- 日本文化体験講座
 - ・市内や近隣在住の外国の方に日本文化体験の場を提供
 - ・着付け、礼法、投扇興、折り紙、百人一首、箏など



姉妹都市交流委員会

- ・姉妹都市ドイツ/マインブルク市やアメリカ/グリーンリー市の市民の方々が来市された時に交流できるイベントを企画、開催
- ・筑波大学の留学生との交流企画（ホームステイや日帰りホームステイ）
- ・会員相互の交流を目的としたイベントの企画（バーベキュー会など）
- ・青少年会員を主体としたイベントの企画など



広報委員会

ホームページ更新やフェイスブックの投稿、newsletterの発行、MIFAの行事や講座への取材をしています。

守谷市国際交流協会を広く紹介し、活動をより楽しんでいただくため、広報委員会をお手伝いくださる方、ご連絡をお待ちしております。



お気軽にお問合せください♪

イベントや企画会議は
ログハウスでおこなっています。

URL <http://www.fureai.or.jp/~mifa/>
E-MAIL mifa@fureai.or.jp

MIFA
ホームページ
QRコード



MIFA
FACEBOOK
QRコード

